



定期保守の見直し

2019年10月10日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1. 定期保守の見直し

第6次NACCSでは月1回の保守日を見直し2カ月に1回へ削減したが、更なる見直しの要否について検討する。

区分	概要	備考
1. 個別検討事項	定期保守日及び保守時間の見直し	
2. 現行仕様	第6次NACCSでは、定期保守日を2カ月に1回設けており、1回の保守時間を2時間30分としている。	第5次NACCSは毎月1回（2時間30分の停止）
3. 見直しの経緯 （利用者の要望等）	昨年に行った、第7次NACCSに関する利用者アンケートの結果、利用者から時間と回数について、更に短くして欲しいとの要望が寄せられている。	
4. 次期仕様	定期保守の回数、時間等の見直しの要否について検討する。	
5. その他		

2. 保守日及び保守時間の構成

第6次NACCSでは保守日を2カ月に1回とし、保守時間の2時間30分の時間構成は以下の通りである。

作業	概要	所要時間	合計時間
全サーバ停止	全サーバを順次停止	30分	2時間30分
保守日作業	・通常のシステムメンテナンス作業 ・プログラム変更作業 ・プログラム変更事前準備作業 ・システム更改に伴う事前準備作業 など	1時間30分	
全サーバ起動	全サーバを順次起動	30分	

上記時間構成を鑑みると、2時間30分をさらに短縮するのは困難。

第6次NACCSでは保守日を2カ月に1回としているが、上記の様な作業がある為、プログラムリリースが遅れるといった影響を考えると、現状の2カ月に1回の作業を維持する方が良いと考える。

3. (参考) 利用者アンケート

利用者アンケートでは、大半の利用者から現在の運用で問題無いとの結果を得ている。尚、その他一部の利用者からは以下のような要望を頂いている。

(時間短縮・回数削減に関する要望)

- ・現場は24時間365日動いているので、2.5時間の保守でも長く感じる。短くして欲しい。
- ・業務に影響がある為、なるべく少なくしたい。
- ・例え夜間であっても、業務に支障が出る。
- ・深夜帯に成田空港から羽田空港への貨物転送処理が多量にあり、保守停止時間は業務処理が滞るため、短くして欲しい。
- ・24時間入出港を行っているため、保守のタイミングで入出港船が有るとマニュアル対応しなければならない。

(曜日に関する要望)

- ・月曜の朝到着分が最も少ない為、日曜日～月曜日に変えてもらいたい。もし変えてもらえるのであれば、保守の頻度は増えても構わない。
- ・NACCSの保守は現状のままで問題はないが、自社システムの停止は日曜日の夜間に行っている。再起動して問題が発生した場合、月曜日の方が現場に担当者が出勤しており、手厚い対応が可能となる為。

定期保守日の頻度・時間

